

令和3年度「フィールド自治体型政策研究会」実施概要

「人口減少で広がる社会のスキマ（成り行きに任せれば失われるであろう機能・存在）を埋めるには」
 ～新たな担い手の確保・日常サービス維持の仕組みについて考える～



【政策研究会のココに着目！】

- 精鋭講師陣と少人数参加者による密度の濃い学び
- 研究テーマは、フィールド自治体のリアルな課題とし、解決策を提案
- 政策形成の技術と手法を学び、プロセスも重視する実践的な研究活動
- 色々な地域から研究員が集まることによる、自治体の枠を超えた広い視野の形成
- フィールド自治体の現地調査だけでなく、必要に応じて先進地視察も可能
- フィールド自治体幹部の前で直接プレゼン。優れた提言は事業化につながり高いモチベーション



【令和3年度研究会のポイント！】

- 人口減少が地域に及ぼす影響について田村市をフィールドに分析、研究
- 新型コロナウイルス感染症により変化した日常を前提としたうえで、人口減少による担い手不足、日常サービスの維持について、次の視点を中心に考える
 - ◇ 地域における担い手をどう維持確保するか
 - ◇ 行政から地域へ～新しい担い手の育成～
 - ◇ 日常サービスの需要の創出



【政策提言までの主な流れ】





【テーマ設定の背景と研究成果の期待】



全国の多くの地方では、人口減少が加速度的に進行しており、田村市も同じ状況にあります。町内会（隣組）などの地縁団体や福祉分野、教育分野など、地域における担い手不足がますます深刻化することにより、地域の衰退が現実味を帯びています。

また、新型コロナウイルス感染症の感染拡大は、私たちの日常を一変させました。地域の将来を考えるには、ウィズコロナ、アフターコロナを見据えたものとしなければなりません。

そこで、本研究会では、人口減少が地域に及ぼす影響、特に日常サービスにおける「成り行きに任せれば失われるであろう機能・存在」＝「社会のスキマ」を明らかにしたうえで、ウィズコロナ、アフターコロナを前提としながらも、そのスキマを埋めるための新たな担い手の確保、日常サービスを維持するための需要創出の仕組み等について研究し、提言を行います。



【政策研究会の参加にあたって】

- 活動は原則として勤務時間内に行います。ただし、現地調査或いは先進地視察等は、視察先の都合等により異なることもあります。
- 研究会への参加費は不要です。ただし、開催場所或いは視察先までの旅費等については、所属団体における公務出張扱いとしてください。
- 当研究会は、テーマに関する業務の担当者にこだわりません。政策研究や当該テーマ等に関心を持ち、主体的に活動する意欲ある職員の参加を期待しています。

現状を知る、現場を視る（問題点明確化）（5月～7月）

第1回（5月28日（金） 10:30～16:00）講演・GW 現地開催

開催場所：田村市役所会議室、田村市内（現地視察）

- ・ 講話：田村市長
演題「人口減少による田村市を取り巻く状況と課題」（仮）
- ・ 講義：福島大学行政政策学類教授 今西一男氏
「政策形成」のプロセスについて
- ・ 現状説明：田村市職員
田村市の現状について～市民アンケート調査から～
- ・ 現地視察：田村市滝根町菅谷（すがや）地区
田村市の現状把握（地域の現状、抱える課題）
「スキマ」の確認

第2回（6月中旬 11:00～16:00）GW

開催場所：自治研修センター

- <内容>
- ・ 専門家を招いての講演
福島大学行政政策学類教授 今西一男氏
 - ・ グループワーク（「スキマ」を明らかにし、課題を設定する）
第1回宿題共有、問題点の洗い出し、課題の絞り込み
→研究テーマの設定

第3回（7月中旬 11:00～16:00）GW

開催場所：自治研修センター

- <内容>
- ・ 研究設計、アウトプットイメージを創る（提言の方向性の決定、仮説を立てる）
あるべき姿、目標の設定、解決策の検討（仮説）

第4回（8月上旬 現地調査・GW）※集中GWの関係上、日程変更可能性あり

開催場所：田村市内

- <内容>
- ・ グループワーク（調査研究、仮説検証）
田村市内の施設訪問、住民ヒアリング

第5回（9月21日～22日 1泊2日集中GW）※日程変更可能性あり

開催場所：自治研修センター

- <内容>
- ・ グループワーク（事例調査、提言素案作成）
提言まとめに向けたグループ討論

第6回（10月中旬 研究員GW）

開催場所：自治研修センター

- <内容>
- ・ 提言、報告会準備（提言書仕上げ、報告会リハーサル）

まとめる（提言書作成）（9～10月）

提言する（提言書提出、発表）（11月）

11月 提言書を田村市へ提出（代表者及び事務局から提出）

報告会（11月 日（ ））

- <内容>
- ・ 研究成果の報告会、講師による講演、講評